

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりませんのでご了承ください。

今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 1～3期

期	(注2)			科目名	申込締切 (注1)	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (注1)	S単位	受講料
	～20	21 ～23	24 ～							
1		★	■	保健医療サービス論(注3)	4/7	4/17	4/27	5/9	1	5,000円
	共通基礎			ボランティア論				1	5,000円	
		★	■	社会福祉援助技術総論				5/16	2	10,000円
	心理系			統計情報を見る眼				1	5,000円	
2	心理系			老年心理学	4/21	5/1	5/11		2	10,000円
			■	精神保健福祉の制度(注3)				5/30	1	5,000円
	◆	★		精神保健福祉論Ⅲ(注3)				1	5,000円	
	◆	★	■	社会保障論				6/6	2	10,000円
	◆★	■	心理	福祉心理学				1	5,000円	
3		★	■	社会福祉援助技術論A	5/5	5/15	5/25	6/13	1	5,000円
			■	精神保健福祉のサービス(注4)				1	5,000円	
	◆	★		精神保健福祉論Ⅱ(注4)				1	5,000円	
	心理系			認知心理学(注4)				6/27	2	10,000円

(注1) 締切日の正午必着。締切日後1～3日間は必ずメールをチェックしてください(不備の場合連絡します)。

(注2) ◆＝平成14～20年度入学者 ★＝平成21～23年度入学者
■＝平成24年度以降入学者向け科目

(注3) 平成25(2013)年度配本の教科書を使用している科目。必要に応じて資料配布します。

(注4) 平成24(2012)年度以降に配本された教科書が必要な科目。

※オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013、2014版p. 11、2009-2011★版および2002-2008◆版p. 9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

※各科目のスクーリング試験の内容などは締切後受講開始日までに郵送（または「TFUオンデマンド」上からダウンロード）される「試験要領」で確認ください。

■「2つの講義（試験）は同時に視聴（受験）できません」と表示される場合について

『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 59～60（または4月新入生は『学習の手引き 2014』 p. 270）に対処方法が掲載されています。

※その他、不具合等に対する対処法などは、『学習の手引き』10章 VIII TFUオンデマンド使用上の留意点をご参照ください。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●リハビリテーション論

- ・リハビリテーションに対する考え方が変わった。特に、リハビリテーションはPT・OTの専門分野であり、医療知識がなければできないものであると考えていたが、そうではなく、医療現場から離れてからも重要なことであると学ばせていただいた。明日より、現在の自分の仕事の中でもその視点を忘れずにいきたい。
- ・リハビリテーションの正確な内容を理解でき、広義の意味があることが分かった。福祉職で弱い部分である、様々な科学的な評価をきちんと行っていくことが、より利用者に対して、選択肢を広げ、的確に提供できることに繋がると感じた。

●特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学)

- ・個人療法とコミュニティアプローチは両輪であるという言葉が印象に残りました。ブリーフセラピーを勉強していますが、共通することがたくさんあり、改めて視点のおき方を深めることに役立てたいと思います。
- ・コミュニティに対するアプローチについて、自分の仕事(地域保健師)と対比しながら聴講することができて、とても興味深かったです。やはり、予防することが大切なのだなあと改めて思いました。
- ・伝統的個人心理療法よりも具体的な解決方法を求めるコミュニティ心理学に興味を覚えた。問題解決そのものをテーマとするコンサルテーションのほうが、カウンセリングよりも求められる場合が多いのではないかと思った。また、NPO法人しゃりのお話は大変参考になった。何かをやりたいと思っても、雇われる前提で考えている自分は恥ずかしいとさえ感じた。